

製本のススメ

Vol. 101

残暑お見舞い申し上げます。TVでは連日熱中症と豪雨の話題です。豪雨なのに東京も水不足。いったいどうなっているのでしょうか？暑さの方は峠を越えたような気がします。暑いからと冷えた食べ物ばかりは、これまた不健康の素ですので、体を冷やさない工夫も必要ですね。

今回も**禁手**の話②

前回は紙目のお話でしたが、今回は紙の種類です。印刷は出来ても製本が出来ないという用紙が、極まれにあります。例えばユポ紙のような石油系の用紙です。フィルムなどもその一つですが、カットすることはできても、折以降の工程が出来ません。接着剤が適合しない場合も多く、剥がれや壊れの主因になります。さらに**廃棄処分にも費用が多く掛かり、単価への影響は避けられません**。また湿気に弱すぎる用紙も用途を選ばないと、加工費用が膨らみます。ミラーコートなどはその代表で、糊の湿気で大きくたわみ、また合紙の部分から剥がれや浮きが生じます。見栄えは良いのですが、安易に使用せず、しっかりと**用途を選ばなければなりません**。

製本作業の多くは、糊を使います。ホットメルトの様な水分をあまり含まないタイプから、デンプン糊・膠糊など様々ですが、殆どは水分を含みます。そのため、シワの多くある「しんだん紙」や薄口のトレッシングペーパー等も、使う箇所を吟味する必要があります。特に薄用紙は、熱や湿気の影響が顕著に現れ強度や作業性の面で大きく劣る事が有ります。

紙は使う箇所さえ間違えなければ、種類は多く 手にも馴染み、また個性的な物になって行きます。多様なエンドユーザー達の好みにも、必ず満足してもらえるでしょう。しかし、その用途を誤ると、製品になりません。その為には、**どんな紙を冊子のどこで使用するのか**、全ての工程で不具合は出ないか**企画段階でのしっかりとしたプランニング**が不可欠と言えます。たかが紙一枚 されど紙一枚 手強い相手と心得ましょう



Teabreak

連日の猛暑 かき氷の彩に時々缶詰のフルーツポンチを入れていますがハテ？ポンチって何の事？と調べてみたら【パンチ】というインドのカクテルの名だそうです。パンチにはヒンズー語で【5】とう意味があり、五指類の材料を混ぜたところから由来しているそうです。一般には水・砂糖・リキュール・レモンジュース・スパイスの五種類らしく、このカクテルの名にフルーツも入れて【フルーツパンチ】それが変化してフルーツポンチとなったとか。

by (株) 井関製本